

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和5年 2月 24日

事業所名:こども療育センター結

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		指定以上のスペースを確保している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		基準の2倍以上の配置をしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		一日に2回以上の清掃と3回の消毒をしており、定期的に遊具玩具の消毒を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		朝礼等を活用して話し合われている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		全職員で共有し、ホームページや事業所内で掲示を行っている。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎朝、読み合わせで関連する本を職員で読む。公開療育や研修会、学会などに参加している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドライン以上に細かく具体的に支援内容を設定し保護者に分かるように努めて記載している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		計画通りの支援をしている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		全職員で活動プログラムを話し合い立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		月ごとに子どもたちの現状を踏まえた活動内容を考えて組んでいる。	様々な活動を取り入れているが、全ての保護者に伝えきれていないことが課題に上がり、継続の大切さと固定化の違いなど伝える必要があることが改善目標となった。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		集団の中で個別に子どもに合わせた支援方法を作り計画を作成している。	
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼で実施。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		必要なことは共通理解するようにしている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個人記録の活用	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1回の定期的なモニタリングで支援計画を見直している。	
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		特に就学時は学級や学校に関係なく、行ってきた支援を共有できるように訪問している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		小学校に山内いて、今までの支援と今後の見通しを学校側に説明している。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナが収まった時点で、施設間の交流などを検討する。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		親子通園の為、その場で見て頂ける。その上でお話することが可能	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		活動前と活動後に活動の説明があり、療育中に関わり方を実際に見て話せる。	登園から降園まで終始、関わり方を伝えて話しすぎてどこからどこまでペアトレか保護者に分かりづらい可能性があるため、ペアトレと分かるように説明したい。	
保護者への説明責任	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用者負担等、説明した上で利用をして頂いている。	契約時や初回に説明をしているため、忘れていたことも可能性としてあることが課題で、どう説明するか検討中。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		来られる回数だけ相談する機会を設け、相談を受けて支援が出来るように努めている。	療育に遅れて来られることが多い時に、降園時以外で、どう話す時間を設けるか検討しています。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		自由参加だが、お茶の里療育時に茶話会など保護者が集まれる機会を提供している。	新たに平日の午前中に保護者同士が話す機会を設けた。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			即日対応出来るように努めている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
任等	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月のお便り発行で紙媒体の配布とホームページでの閲覧がいつでも出来るように発信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		情報を職場外に持ち出すことはなく、写真を公に出すこともないことを徹底している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		PECSなど職員が対応出来るようにスキルを身につけている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		餅つき大会、クリスマスコンサートなど。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルは策定している。	嘔吐処理のマニュアルはあるが、実践が少なく、適切に処理できるか課題にあげられたため、準備期間と11月に全職員で実施することとした。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月始めに事前予告なし避難訓練を実施。	避難訓練は必ず定期的に実施しているが、そのことを保護者にご理解ご承知頂いているか課題に挙げられたので、していることが分かるように伝える工夫を目標としている。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		園児情報や口頭からの会話で子どもの健康状態も含めて状況確認している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		クッキング活動の際に留意している。(クリスマスケーキなど)	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎朝、朝礼でヒヤリハット報告があり、月末にヒヤリハット報告が回覧される。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年研修会に参加し、職員朝礼や準備期間に共通理解として事業所内研修を行っている。	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		契約時に示すほか、全職員で毎年話し合い、児童発達支援計画に記載している。		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)